



道路線引き用スプレー

中線用 約5cm幅
線引きやマーキング作業が簡単にできる



用途	駐車場、倉庫、運動場などの ライン引きや道路、木材などの マーキングに	
	標準塗り面積(1回塗り) 2.2~2.5㎡	乾燥時間 夏期/20~30分 冬期/40~60分
	約5cm幅で45~50m	無鉛塗料 鉛・クロム化合物は 使用していません。

使用方法・注意書きをよく読んでから使用して下さい。 **400ml**

商品名 道路線引き用スプレー
成分 合成樹脂塗料
組成 合成樹脂(アクリル)、顔料、有機溶剤
●速乾性でアスファルトに塗ってもじみません。
●スプレーライナーを使ってアスファルト・コンクリートなどに手軽に線が引けます。
●スプレーライナーを使用せず、手でスプレーすることもできますので、マーキング用としても使用できます。
用途 駐車場、工事現場、倉庫、競技場などのアスファルト面・コンクリート面のライン引きやマーキング

使用方法

①塗る面の砂やゴミ、油分等をとりす。②塗料が引ける間は、あらかじめマスキングテープなどでおきます。塗る面にマスキングテープを使って囲い込みよりきれいに仕上がります。③使用するときは、容器を十分に振り(かくはん)の音が聞こえてから約30秒間、よく混ぜます。使用中もときどき振り動かして中身をよく混ぜます。④塗る面と噴出口との間は10cmの間隔をとってボタンの「押」部分を押します。スプレーライナーを使用する場合は、スプレーライナーのケースの表示をよく読んでご使用下さい。⑤目立たない部分で試し塗りをして色・噴射の状態・乾燥性・地へへの影響・密着性などをよく調べて異常がないことを確かめてから塗ります。⑥このスプレーは逆さ吹き専用です。使用後は、噴出口がつまったり、線幅が乱れたりしないよう必ず容器を上向きにして噴射口の上にボ口布等をあてて2秒くらい空吹きし、噴出口をよく拭いてからキャップをします。

用具の手入れ方法 ラッカーうすめ液で洗って下さい。

保管上の注意

- 幼児の手の届かないところに保管し、子供が誤飲・誤食しないように注意して下さい。
- 中身が漏れたり破裂する危険がありますので、湿った場所などサビやすいところや、直射日光のあたるところ・自動車内・暖房器具の周辺などの温度が高くなるところには置かないで下さい。

危険			
●引火性あり ●吸入すると有害 ●強い刺激 ●騒音の障害 ●眩気やめまいのおそれ ●水生生物に有害			
救急処置	●目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。 ●皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。 ●蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。		

第1石油類200ml/危険等級Ⅱ/火気厳禁
合成樹脂エナメル塗料(A-046)

ガス抜きキャップの使い方

- 注意事項
- 必ず中身を使い切ってから行して下さい。
 - 火気のない屋外で行って下さい。
 - 塗料が飛び散っても差し支えないところで行って下さい。
 - 容器が傾かないよう平らな場所で行って下さい。

ガス抜きの方法

- ボタンの噴出口にボ口布等をあてがひ、マイナスイオンパターを使用してボタンを外します。
- キャップの内側にティッシュペーパーを6〜7枚詰め、飛び出さないようにセラハンテープで止めます。



- キャップ天面を上向きにして、新聞紙等を敷いた上に置きます。
- 容器を逆さにしてステムをキャップ中央の穴に合わせて強く押し込みます。容器とキャップが固定された状態で一気に音とともにガスと塗料が抜けはじめます。容器が倒れないようにして2〜3時間放置後、容器には油性ペンで「ガス抜き済み」と表示し、キャップと分別廃棄して下さい。

火気と高温に注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。

- ①炎や火気の近くで使用しないこと。
- ②火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
- ③高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40度以上となる所に置かないこと。
- ④火の中に入れてはいけません。
- ⑤使い切って捨てること。

高圧ガス：DME、LPG

株式会社 アサヒペン

大阪市鶴見区鶴見4-1-12 <http://www.asahipen.jp>

お客様相談室 ☎ 06-6934-0300

フィルム:プラスチック(PP) ボタン:プラスチック(PE)
キャップ:プラスチック(PP) 器:スチール

日本製
00-1205